



大和市に住みたいと思う人を増やすアイデア編

やまと市民討議会

開催結果概要

「やまと市民討議会～大和市に住みたいと思う人を増やすアイデア編」を開催しました！

これから大和市に住みたいと思う人をもっとも増やしていくためにはどのようなことが必要か、市民の方々からご意見をいただき、市の取り組みの参考とするため、平成27年11月14日(土)に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」の方々に参加していただくため、無作為抽出した市民3,000名に案内を送付しました。

当日は、抽選で選ばれた33名の方と市内高等学校6校から生徒11名が参加しました。



市民討議会の様子

午前のグループワークのまとめ

住みたいまちってどんなまち？
住みたいまちの条件を出し合おう

<全世代>

- ・自然豊かで美しく、静かで治安のよいまち
- ・経済的に暮らしやすく、文化度と知名度の高いまち

<若い世代>

- ・誰もが楽しく休日を過ごせるよう、レジャー施設やショッピングセンター、公園が充分にあるまち
- ・子どもを預けながら仕事ができる環境があるまち
- ・市内で働けるまち

<シニア世代>

- ・コミュニティバスなど、移動に不便のないまち
- ・高齢者同士、世代間の交流が活発で、助け合いのあるまち

例えば10年後、次のライフステージに進んだ時のまちの心配ごとを出し合おう

- ・保育所、幼稚園における園庭などの遊び場や街灯などの整備、治安向上の取り組みが不十分で、子どもの成長に影響があるのではないか
- ・日頃から近隣の人々との交流があり、災害時にも頼りにできるコミュニティができているかどうか
- ・自転車も車も渋滞などに巻き込まれず、安全で便利に道路を利用できるかどうか
- ・市内に多くの企業があり、障がいの有無にかかわらず、働ける環境があるかどうか
- ・介護施設、医療機関や医療・介護人材の不足から、老後に十分なケアが受けられないのではないか
- ・高齢になっても外出に不便がないなど、暮らしやすいまちであるかどうか

午後のグループワークのまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

表の見方

グループ番号 | **課題／理想** | **解決／実現のアイデア**

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイデアです。

テーマ① 安心・安全に暮らせるコミュニティづくり

1グループ	知名度が低い	富士山が見えるスポットのマップをつくりPRしよう	1グループ	働きながら安心して子育てしたい	お母さん同士が助け合える環境をつくらう	
	自然を大切にしたい			子どもが健全に育てられるか不安		新米お父さんお母さんのための子育て相談会を開催し、先輩ママや専門家との連携や、おばあちゃんの知恵袋を活用しよう
	古いものと新しいものを共存させたい			飛び出し注意のキャラクター看板の設置や見通し、通学路の安全を確保しよう	多世代交流の場があるとよい	コミュニティセンターに学生が勉強するところをつくり、勉強に使える資料を置いたり、ドリンクバーを設置したりすることで、利用者を増やそう
	交通事故のない安全なまちにしたい	治安 No.1 のまちを目指して、人気の店をまちの奥に置くなど、回遊性を高めて商店街を賑やかにしよう+街灯を増やそう		夏休み期間中、不登校の子どもにボランティアの学生（大学生）が勉強を教える場をつくらう	地域の多世代にもっと集まってもらうために転入の際にコミュニティセンターの機能を伝えたり小中学校と連携して子ども向けの情報を伝えよう	
	夜も明るく、治安がよい、安全なまちにしたい	災害時にどうしたらよいかわからない		世代別に安心して情報を得ることのできるツールを確保しよう	ご近所コミュニティが充実するとよい	利用者や時間のある高齢者に管理をお願いし、半官半民で運営する新しいコミュニティセンターにしよう
	自治会に加入する人が少ない	コミュニティセンターをもっと活用したい		コミュニティセンターに人をつなぐコーディネーターを置いて、子どもと高齢者の交流を活性化しよう		

テーマ② 子育てしやすい、子どもが育ちやすい環境づくり

3グループ	コミュニティセンターがもっと小学校に近く、同世代や高齢者との交流を深められ、学童の代替施設として使えたとよい	コミュニティセンターで小学生向けのイベントをどんどん企画して小学校にPRしていこう	4グループ	子育てしながら働きやすい環境があるとよい	大和市内の駅に保育施設をつくらう（市内の駅の半数程度）
	子どもを預けられる施設が増えたとよい	小学校とコミュニティセンターの関係を近づけるために、コミュニティバスを活用しよう		地域社会で学生～シニアが交流しながら、子育てや見守りに関わる仕組みがあるとよい	シニアが子どもを見守り、学生は子育てを学びつつサポートする、子育て支援の仕組みをつくらう
	働きながら、子どもを安全に育てていける仕組みがあるとよい	コミュニティバスを、子育てに関する色々な情報を得られる情報発信拠点にしよう		子育て世帯に集中した経済的な支援があるとよい	登下校の時間に、複数人で自動的に街角に立ち、子どもに声をかける見守り運動をしよう
	親が“子育て”を学べる場や、機会が充実しているとよい	「特定の子育ての悩み」を抱える前のタイミング毎に、学べる機会を提供していこう		外国人が多いことをプラスに捉えて交流の場を増やし、国際色豊かなまちとしてアピールしよう	
	子どもが気軽に遊べる公園などが充実しているとよい	子どもが遊びに行きたくなる遊具のある公園の設置や屋内施設の充実など、遊び場の選択肢を増やしていこう		大和市の良いイメージづくりをし、アピールするとよい	

テーマ③ “○○^{かける}×しごと” 地域で働く環境づくり

5 グループ	働く世代を応援するまちになって欲しい	開業・起業に向けて市が金銭的な補助をしよう	6 グループ	地域の人働く場にもつながる高齢者施設があるとよい	将来、自分が入居することを見据え、今入居している世代のために働けるような市民参加型の高齢者の住まいをつくろう
	新しい技術や職能を身につけられる場があるとよい	介護職などの必要とされる資格や技術を学べるサポートをしよう		子育てと仕事を両立できるとよい	子育て世代が働きやすい多様な選択肢を提供できるように、駅近くの託児所、夜間対応の保育園、在宅勤務などを推進しよう
	正規雇用する職場や、多様な働き方ができる職場が増えるとよい	共働きを推進するために、勤務時間を自由にできる企業の誘致や、在宅で働ける環境づくりをしよう		自宅付近で働ける環境があるとよい	職場だけでなく、リフレッシュできる場所もまちの中にあるとよい
	ITを活用して、自宅勤務ができる環境があるとよい				
	大手・知名度のある企業を誘致できるとよい				
	ダブルワーク、ダブルインカムを学べる、できる場があるとよい			高齢者の雇用を促進することが大切	高齢者や障がい者がいきいきと働けるよう、専門性を活かせる職場とのマッチング、ネットワークづくりの支援をしよう
多様な世代の交流を促進できるとよい	多様な世代の交流を通じて、世代を横断した助け合いが新しい雇用を生む仕組みをつくろう	若者が働きたくなくなるような労働条件のよい企業が不足している	若者に魅力的な企業誘致のため、短期的には企業育成、税制優遇、長期的には都市計画や交通の利便性向上などを検討しよう		
大和市の知名度を向上させたい	“○○”で有名な大和市ブランドをつくるために、ランドマークや企業の誘致、新しい暮らし方を発信しよう	多様な世代の就職のサポートをするにあたって、市からの一方的な情報提供だけではよくない	市民と市が相互に情報交換しながら、仕事をマッチングする仕組みをつくろう		

テーマ④ 年をとっても、いつまでも住み続けられるまちづくり

7 グループ	移動手段の選択肢が多いまちになるとよい	行きたい場所や時間帯に柔軟に対応する公共交通の仕組みをつくろう	8 グループ	病院がなくなるとよい	楽しく身体を動かす機会を増やして健康寿命を延ばそう
	若い人からお年寄りまで、多世代の交流があるまちをめざそう	各世代が持っている得意分野を教え合う機会をつくれるように「一芸データバンク」をつくろう		リーズナブルに入居できる高齢者施設がない	施設に入居しなくて済むよう、それぞれに合った就業サポートをし、自立した生活を支援しよう
	日常生活や趣味を続けるために、手助けしてくれる方や機会が提供されるとよい			身近な人と支え合いができる関係があるまちになるとよい	支え合える関係をつくるために身近に集まれる場やイベントをつくろう
	老老介護を安心してできるまちになるとよい	助け合って介護ができるように、公共医療機関の充実や専門家との連携とともに、「世代」「地域」が違うボランティアの方との協力関係を築こう		集まれる場があっても気軽に参加できない	集まれる場に気兼ねなく参加できるように地域のコーディネーターを発掘しよう
	歩くことが楽しいと思える魅力やスポットがあるとよい	まちのバリアフリー化を進め、身近な地域を回れる「テーマ型」の散歩コースをつくろう			
一人暮らしでも安心して暮らせるまちになるとよい	身近な知り合い同士だけが知っている「合図」をつくろう				

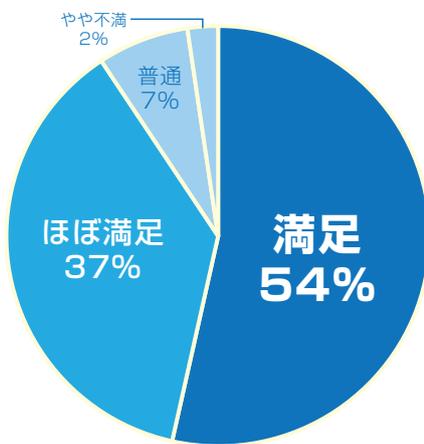


④ 当日のプログラム

時間	実施内容	時間	実施内容
9:30	受付開始	12:20	昼食・休憩
10:00	開会のあいさつ・市民討議会の目的について	13:20	午前中の成果の共有と後半グループワークの進め方・テーマの確認
10:10	大和市の人口を取り巻く環境	13:30	午前中に出された意見を受けて、8グループ（6～7人）に分かれて、各グループが1つのテーマについて、意見交換を行います。 [テーマ例] 私たちの考える最高の大和市の暮らし方を考えよう ①観光 ②子育て・教育 ③仕事 ④高齢・福祉
10:30	本日の進め方の説明		
10:50	8グループ（6～7人）に分かれて2つのテーマについて席替をしながら意見交換を行います。 テーマ①：住みたいまちってどんなまち？住みたいまちの条件を出し合おう テーマ②：例えば10年後、次のライフステージに進んだ時にどんなまちに住みたいかを語り合おう		
11:50	グループ成果の発表	15:30	グループ成果の発表
		15:55	各グループで良いと思った発表についてシール投票・まとめ
		16:15	閉会のあいさつ・アンケート記入

④ 参加者の感想

<市民討議会への満足度>



<主な感想>

- ・期待していた以上に、参加者全員が自由活発に討論していた。
- ・大和市を住みやすくするのは私たちであると実感できた。
- ・若い年齢層からの建設的な意見、希望が提案されたことがよかった。
- ・学校では聞くことのできない幅広い世代の人から色々な意見が聞け、自分の意見も出すことができ楽しく話せた。

④ 今後の取り組みについて

今回の市民討議会でもいただいた内容は、市民参画で得た貴重な意見として取りまとめ、今後、「大和市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定をはじめ、市の施策展開・検討等の参考としていきます。また、報告書は平成28年1月頃に市ホームページに掲載予定です。

URL: <http://www.city.yamato.lg.jp/web/seisaku/seisaku01211999.html>

④ お問い合わせ

大和市 政策部 総合政策課 電話：046-260-5304

